



七松小学校 学校だより

令和5年度

12月号

尼崎市立七松小学校

校長 中島 賀子



☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

ポジティブ行動支援



11月23日の図工展・オープンスクールには、たくさんの方々にご覧だけだことは、こどもたちにとって、励みになったことと思います。心より感謝申し上げます。

さて、ポジティブ行動支援とは、「こどもの望ましい行動をポジティブな方法（教える・促す・価値づける）で増やそう」という支援の考え方であり、「問題行動を減らす」という考えから、「望ましい行動を増やす」という考えで進めていくことです。「望ましい行動が増えると、問題行動は必然的に減ります。例えば、床にゴミが落ちているのを見つけたとき、ゴミを拾ったら、「ありがとう」と褒められる。褒められたら「できた!」「うれしい!」と感じる。行動を起こした結果、良いことが起きるとその行動が増加します。良い行動を増やしていくためには、子どもたちが「褒められる経験」や「できた喜び」、「がんばったと感じる」、「楽しいと思える経験」をたくさんできる環境設定が重要なのだそうです。だから、褒めましょう、なのですが、褒めるだけでは不十分です。褒められることが、子どもたちにとって、「良いこと」や「嬉しいこと」である必要があります。子どもたちにとって、「良いこと」や「嬉しいこと」があったら、またしようと思います。そのためには、何が良かったかを伝える必要があります。ポジティブな行動支援で大切にしていることは、子どもたちが安心して過ごせる場所があり、自分の存在を認められる温かな環境の中で自信をもって主体的に行動できる子どもを増やすことだそうです。褒めてばかりなら、子どもを叱ってはいけないのかと誤ってしまいます。ですが、子どもの命や身体の安全に関わることや人権を侵害するような行為に対しては、毅然と対応する必要がありますし、叱ることも必要です。しかし、叱った後は、どこがいけなかったのか、どうすればよかったのかを合わせて説明することが大切です。そして、その後、少しでも良いところがあれば、すかさず、褒めたり認めたりするといいいとのことでした。大人が余裕をもって、このように対応していきたいものです。

12月は、2学期のまとめ、1年のまとめの時期です。しっかりと振り返りをして、新しい年につなげられればいいなと思います。また、12月に入ると、世の中が、気ぜわしくなってきます。こどもたちが、事件や事故に巻き込まれることのないよう、しっかり見守って、新しい年を迎えたいと思います。保護者・地域の皆様には、こどもたちの健やかな成長のため、今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。